

描写に注意して読む

ねらい

- ・描写の効果や登場人物の言動の意味を考え、登場人物の心情を読み取る力
- ・文章表現の仕方や登場人物の人物像などについて自分の考えをもって読む力をつける！

単元・授業の流れ

指導のポイント（留意点）

ア 見通しをもつ（意識化）

- 1 作品に対する興味をもつ
- 2 学習課題を設定し、学習計画を立てる

表現の特徴や工夫について考えることで、登場人物の人物像や心情についての読みを深め、自分の考えをもって読む力を身に付ける単元であることを意識させる。

《手立て》

- ・表現の特徴や工夫に気付くための資料（太宰治の作品の冒頭）
- ・学習の見通しを示す学習計画表

身に付ける

イ 習得 ↔ 活用

- 3 本文を通読する
- 4 初発の感想を書く
- 5 人物像を読み取る
- 6 あらすじをとらえる
- 7 とらえたあらすじを時系列にまとめる
- 8 表現の特徴や工夫について考える
- 9 考えた意見を交流する
- 10 「走れメロス」の表現の特徴を利用して、物語の空白部分を創作する

「走れメロス」の内容を時系列にまとめることであらすじをとらえ、描写の効果や登場人物の言動の意味を考え、心情を読み取る力を身に付けさせる。

（習得）

《手立て》

- ・スモールステップによる学習活動（あらすじを時系列にまとめる）
 - ・学習活動を補助する資料（ワークシート）
- 描写の効果や登場人物の人物像などについて自分の考えをもたせる。

（習得 ↔ 活用）

《手立て》

・言語活動を通した指導1（表現の特徴をまとめる）

- ・スモールステップによる学習活動
 - ・学習活動を補助する資料（ワークシート、学習の手引き、学習プリント）
- 作品の表現の特徴を利用して、登場人物になりきって空白部分を創作させる。

（活用）

《手立て》

・言語活動を通した指導2（物語を創作する）

- ・学習活動を補助する資料（ワークシート、学習の手引き）

エ 振り返る（定着）

- 11 創作した文を相互評価する
- 12 意見交流会を行う
- 13 学習のまとめをする

創作した文を相互評価し交流させることで、「走れメロス」の表現の特徴について確認させる。

《手立て》

- ・学級で行う意見交流会（評価表）
- ・学習の見直しをする資料（学習計画表）